令和５年度　３年生コミュニケーション英語Ⅲ　シラバス（外国語）

科目	コミュニケーション英語Ⅲ	単位数	４単位	対象学年	３年	対象コース	普通･特進コース
使用教科書	（コⅢ341）　NEW FLAG ENGLISH COMMUNICATION III（増進堂）			副教材等	NEW FLAG ENGLISH COMMUNICATION III Workbook　（増進堂）		

学習の到達目標	英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力をさらに伸ばし，社会生活において活用できるようにする。 具体的言語活動は次の通り。 ア．事物に関する紹介や報告，対話や討論などを聞いて，情報や考えなどを理解したり，概要や要点をとらえたりする。 イ．説明，評論，物語，随筆などについて，速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をする。また，聞き手に伝わるように音読や暗唱を行う。 ウ．聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合うなどして結論をまとめる。 エ．聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，まとまりのある文章を書く。

評価の観点

ａ．コミュニケーションへの関心・意欲・態度	ｂ．外国語表現の能力	ｃ．外国語理解の能力	ｄ．言語や文化についての知識・理解
コミュニケーションに関心をもち，積極的に言語活動を行い，コミュニケーションを図ろうとする。	外国語で話したり書いたりして，情報や考えなどを適切に伝えている。	外国語を聞いたり読んだりして，情報や考えなどを的確に理解している。	外国語の学習を通して，言語やその運用についての知識を身につけているとともに，その背景にある文化などを理解している。

学期	月	考査	学習項目	学習内容	a	b	c	d	評価の方法
１学期	４月		オリエンテーション	「コミュニケーション英語Ⅲ」の学習目標，学習上の留意点，使用教材，年間計画，評価方法などについて説明する。					
		１学期中間考査	Chapter 1 (日常) Steve and Ryoma	＜題材内容とねらい＞ ・Innovator としての Steve Jobs についてその生き方から彼の信念を読み取る。 ・Innovator としての坂本龍馬の人生を、彼の短歌や夢を通して読み取らせる。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況
			Chapter 2 （自然） Uluru, Not Ayers Rock	＜題材内容とねらい＞ ・Uluru の紹介と 1920 年代までの Uluru の歴史を読み取らせる。 ・Uluru とその周辺地域の環境問題とそれに対する対策を読み取らせる。	○	○	○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況
	５月 ６月	１学期期末考査	Chapter 3 （社会） Community Design	＜題材内容とねらい＞ ・コミュニティデザイナーの山崎氏と家島の人々との出会いについて知る。 ・家島の人々とプロジェクトメンバーとの、家島の魅力に対する観点の違いを読み取らせる。 ・山崎氏のプロジェクトにより、活性化した家島と人々の変化を理解する。	○	○	○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況
			Chapter 4 （文化） The Life of Murasaki Shikibu	＜題材内容とねらい＞ ・紫式部の子供の頃、結婚してから、宮廷での生活について知る。 ・なぜ「光源氏」を紫式部が書いたのか、その背景について知る。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況
	７月		第１学期の評価方法	＜評価の対象＞ ①中間考査及び期末考査の成績，②Chapter 1～４の各課の評価問題の成績，③授業への取り組みの様子，④課題の提出状況と解答内容，⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。評価の方法の観点別分類は「評価の観点」に記載。					

2学期	9月	2学期中間考査	Chapter 5 （産業） Microfinance	＜題材内容とねらい＞ ・少額ローン、預金、保険で貧困から逃れる支援をするマイクロファイナンスについて知る。 ・マイクロファイナンスの地域社会に対する貢献と個人へのサービスについて理解させる。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況
			Chapter 6 （文化） The Plain People	＜題材内容とねらい＞ ・伝統的なアーミッシュの生活について学ばせる。 ・アーミッシュの人々の考え方と生き方について読み取らせる。			○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況
			Chapter 7 （科学） The Air Powered Car	＜題材内容とねらい＞ ・エアカーの魅力と燃費について読み取らせる。 ・過去の創造が未来の現実を作る可能性について読み取る。			○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況
	10月 9月 10月	2学期期末考査	Chapter 8 （文化） Are Children the Best Learners?	＜題材内容とねらい＞ ・子供と大人の言語学習の違いと、大人の新しい言語学習についての可能性について知る。 ・年齢の違うグループがどのように学ぶかの実験とその結果を把握する。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
			Chapter 9 （科学） Printing the Future	＜題材内容とねらい＞ ・３D プリンターが我々の生活にどのような影響を与えるか、その可能性について知る。 ・３D プリンターの長所と短所を知る。		○	○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況
			Chapter 10 （自然） Seed Balls	＜題材内容とねらい＞ ・どのようにして NPO がアフリカの緑化活動に携わることになったのかその背景を知る。 ・ケニアにおける砂漠化の問題と、シードボールをまいたことによる環境の変化について知る。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
		第２学期の評価方法		＜評価の対象＞ ①中間考査及び期末考査の成績，②Chapter ５～10 の各課の評価問題の成績，③授業への取り組みの様子，④課題の提出状況と解答内容，⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。評価の方法の観点別分類は「評価の観点」に記載。					
	12月	学年末考査	Chapter 11 （日常） Creativity	＜題材内容とねらい＞ ・有名な心理テストについて読み自らも考えてみる。 ・人が思考の枠を超えて想像力を発揮するのに必要なのは純粋な興味（動機づけ）か報酬なのかについての文を読み解く。	○		○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
3学期	1月		Chapter 12 （日常） Spark Joy	＜題材内容とねらい＞ ・試験前のようにﾌﾟﾚｯｼｬｰがかかる状況で、なぜ人は部屋の片づけをしたい衝動的にかられるか。 ・片づけの秘訣をたくさん学んだ筆者が、いつも探していたものは何かを知る。 ・筆者はどの様なものを捨てずに取っておくべきだと言っているのか。		○	○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	2月		Chapter 13 （文化） Mutual Understanding of Different Culture	＜題材内容とねらい＞ ・ﾊﾟｰﾃｨｰの場で上司や同僚にしたあいさつがどのような誤解を引き起こしたかを読む。 ・異文化による誤解の研究の内容について知る。 ・日本人にとって自然な言い回しも、異文化ではその言い方に接したときの感じ方の違うことを知る。		○	○	○	・授業での取り組み ・課題などの提出状況 ・評価問題
	第３学期の評価方法			＜評価の対象＞ ①中間考査及び期末考査の成績，②Chapter 11～12 の各課の評価問題の成績，③授業への取り組みの様子，④課題の提出状況と解答内容，⑤授業時間内に行うコミュニケーション・テストの実施状況。 評価の方法の観点別分類は「評価の観点」に記載。					
学年の評価方法				①コミュニケーションへの関心・意欲・態度，②外国語表現の能力，③外国語理解の能力，④言語や文化についての知識・理解の４つの観点から表した各学期の成績から総合的に判断して，年間の評価とする。					